

2018 年度 事業報告書

(2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで)

学校法人 中内学園

一	学校法人の概要
---	---------

①建学理念及び教育の特色

【建学理念】

流通を科学的に研究教育することを通じて、世界の平和に貢献し、真に豊かな社会の実現に貢献できる人材を育成する。

【教育の特色】

「流通・マーケティング」を研究し、学ぶということが全学的に共通した教育の大前提であり、学部・学科・コースとも、それぞれの教育特性を活かした切り口で「流通・マーケティング」を学び、さらに常に動態化している第三次産業の市場や生活者の変化に適応でき、使える学問としての「実学」で学ぶことが本学の教育の特色である。また、2015年度、大幅なカリキュラムの改変を行い、入学直後の半年間を自分の将来の目標を見つけるための期間とする気づきの教育(本学独自の初年次教育)を導入。

【将来に向けてのビジョン】

大学を取り巻く外部環境・内部環境の想定を超える変化の早さに対応し、本学が勝ち残るための中内学園中長期計画(N-PLAN)を、2010年度からの中長期計画である「RYUKAプラン21」において実施中の内容を包含した上で、第一次計画(2012～2014年度)を策定・実施。その後、第二次計画策定・実施。2016年度に、第二次計画をベースに、教育改革を中心とした第三次計画(2017～2019年度)を策定。“流通科学大学オンリーワンの教育”を推進する。

②沿革

1979(昭和54)年	5月	中内功、流通関係の大学設立構想発表
1984(昭和59)年	3月	流通科学大学(仮称)設立事業計画策定
1985(昭和60)年	6月	流通科学大学設立準備財団設立発起人総会 中内功を設立代表者に選任
1986(昭和61)年	1月	「財団法人 流通科学大学設立準備財団」認可・登記
1987(昭和62)年	12月	学校法人中内学園 寄附行為認可及び流通科学大学認可
1988(昭和63)年	1月	学校法人中内学園設立登記
1988(昭和63)年	4月	流通科学大学 商学部(流通学科/経営学科)開設
1991(平成3)年	12月	寄附行為変更認可及び情報学部設置認可
1992(平成4)年	4月	情報学部(経済情報学科/経営情報学科)開設
1993(平成5)年	12月	寄附行為変更認可及び商学部(ファイナンス学科/サービス産業学科)開設認可
1994(平成6)年	4月	商学部(ファイナンス学科/サービス産業学科)開設
1995(平成7)年	12月	寄附行為変更認可及び大学院(流通科学研究科)設置認可
1996(平成8)年	4月	大学院(流通科学研究科 修士課程)開設
1997(平成9)年	9月	中内記念館(10周年記念事業)竣工
1997(平成9)年	12月	大学院(流通科学研究科 博士課程)設置認可
1998(平成10)年	4月	大学院(流通科学研究科 博士課程)開設
2001(平成13)年	4月	サービス産業学部(観光・生活文化事業学科/医療福祉サービス学科)開設
2004(平成16)年	5月	大阪オフィス開設(大阪駅前第4ビル19階)
2005(平成17)年	3月	商学部サービス産業学科廃止
2006(平成18)年	4月	アスレチック棟(20周年記念事業)竣工
2006(平成18)年	9月	中内功記念館開設(中内記念館を改装)
2006(平成18)年	9月	流通資料館開設
2007(平成19)年	7月	講義棟6(20周年記念事業)竣工
2008(平成20)年	8月	第二クラブハウス竣工
2009(平成21)年	10月	流通科学大学野球場竣工
2010(平成22)年	4月	校歌「神戸の風は」完成
2010(平成22)年	6月	中内功記念館リニューアル
2011(平成23)年	1月	大阪オフィス移転(ハービス OSAKA オフィスタワー8階)
2011(平成23)年	4月	商学部(商学科)開設
		※商学部 流通学科、経営学科、ファイナンス学科を改組
		総合政策学部(総合政策学科)開設
		※情報学部 経済情報学科、経営情報学科を改組
		サービス産業学部(観光学科、サービスマネジメント学科)開設
		※サービス産業学部 観光・生活文化事業学科、医療福祉サービス学科を改組
		リテール科学研究所設立

2011(平成 23)年	9 月	キャッシュレジスター博物館開設
2012(平成 24)年	2 月	第三クラブハウス竣工
2015(平成 27)年	4 月	商学部(経営学科／マーケティング学科)開設、 経済学部(経済学科／経済情報学科)開設、 人間社会学部(人間社会学科／観光学科／人間健康学科)開設
2015(平成 27)年	9 月	流通資料館改め、ダイエー資料館開設
2016(平成 28)年	3 月	大阪オフィス閉鎖
2016(平成 28)年	3 月	商学部流通学科及びファイナンス学科廃止
2016(平成 28)年	9 月	附属図書館リニューアル
2017(平成 29)年	3 月	人工芝グラウンドリニューアル
2017(平成 29)年	5 月	情報学部経済情報学科廃止
2017(平成 29)年	9 月	メディアセンター 移設 リニューアル
2018(平成 30)年	2 月	国際交流施設学生寮竣工
2018(平成 30)年	3 月	商学部経営学科廃止 サービス産業学部観光・生活文化事業学科及び医療福祉サービス学科廃止
2018(平成 30)年	10 月	情報学部及び情報学部経営情報学科廃止

③設置学校等

理事長 中内潤

流通科学大学

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

学 長:中内潤

流通科学大学大学院

所在地:神戸市西区学園西町 3-1

学 長:中内潤

④役員及び教職員に関する情報

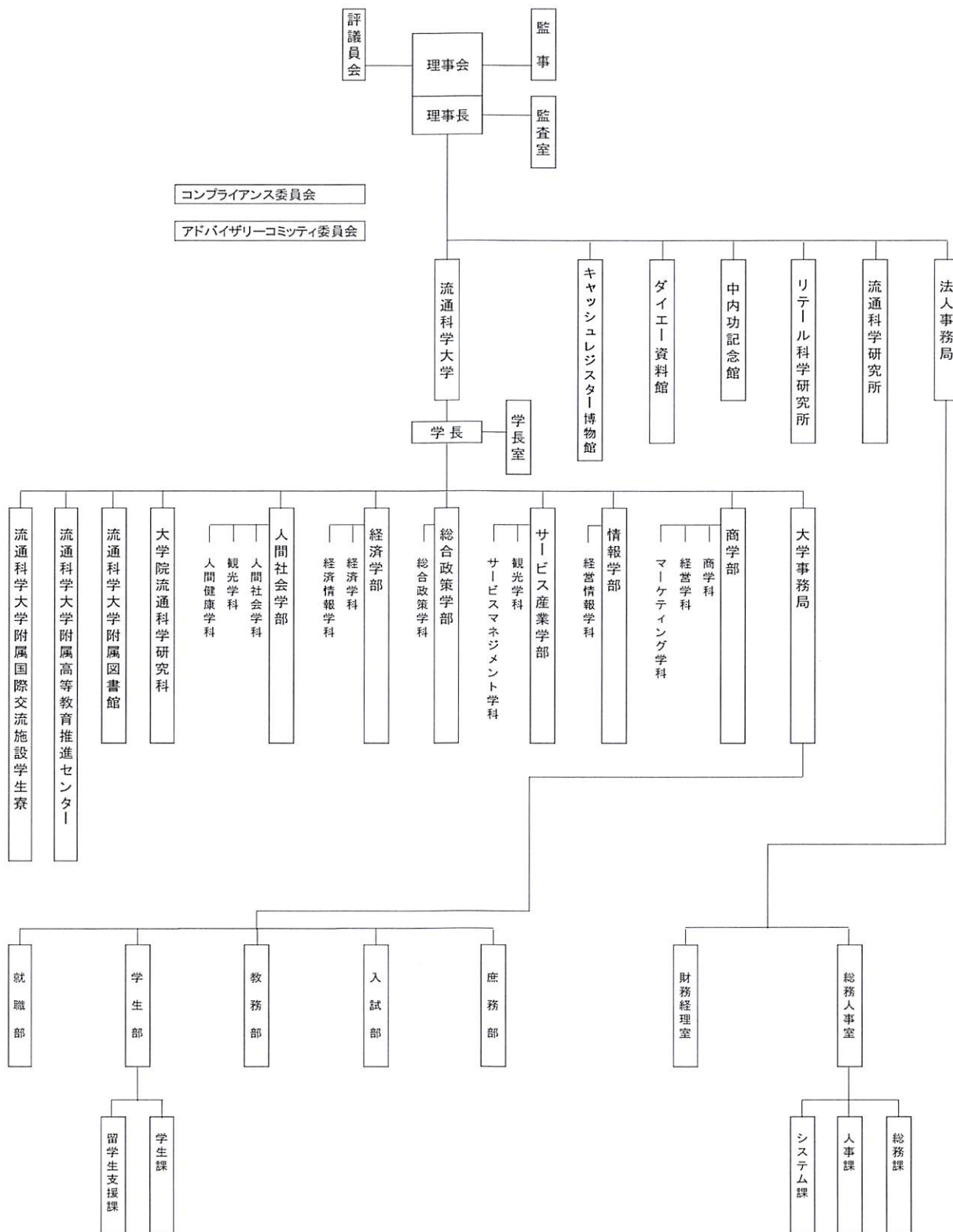
(2018.5.1 現在)

理 事	10 名	(うち学内理事)	5 名	(うち学外理事)	5 名		
監 事	3 名						
評議員	25 名						
教 員	104 名	(うち教授)	63 名	(うち准教授)	34 名	(うち講師)	7 名
		平均年齢(教授)	58 歳	平均年齢(准教授)	47 歳	平均年齢(講師)	39 歳
職 員	165 名	(うち正職員)	51 名				

学校法人中内学園 理事、監事、評議員一覧(2018年4月1日)

		所 属	役 職	氏 名
理 事	1	学校法人中内学園 流通科学大学	法人事務局長兼大学事務局長	大野 康人
	2	株式会社美十	代表取締役社長	酒井 宏彰
	3	特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッション	理事長	田中 まこ
	4	学校法人中内学園 流通科学大学	理事長兼学長	中内 潤
	5	学校法人中内学園	学園長	中内 希
	6	学校法人中内学園	東京オフィス事務長	廣瀬 寛
	7	日本郵政株式会社	社外取締役	広野 道子
	8	学校法人中内学園 流通科学大学	法人事務局次長兼学生部長	細峪 輝行
	9	株式会社フェリシモ	代表取締役社長	矢崎 和彦
	10	一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会	会長	横山 清
監 事	1	多聞法律事務所	弁護士	田中 久雄
	2	学校法人中内学園	監事	山本 隆俊
	3	中央興産株式会社	代表取締役	尤 昭福
評 議 員	1	流通科学大学	附属図書館館長	井上 芳郎
	2	有朋会	副会長	茨木 耕司
	3	流通科学大学	人間社会学部長	岩崎 久志
	4	学校法人中内学園 流通科学大学	法人事務局長兼大学事務局長	大野 康人
	5	有朋会	会長	岡本 一展
	6	株式会社ホテルオークラ神戸	代表取締役社長 総支配人	小川 矩良
	7	株式会社美十	代表取締役社長	酒井 宏彰
	8	流通科学大学	流通科学研究科長	清水 信年
	9	株式会社合食	代表取締役社長	砂川 雄一
	10	株式会社阪急オアシス	代表取締役会長	千野 和利
	11	特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッション	理事長	田中 まこ
	12	株式会社みなと銀行	取締役頭取	服部 博明
	13	流通科学大学	経済学部長	羽森 直子
	14	学校法人中内学園	東京オフィス事務長	廣瀬 寛
	15	流通科学大学	副学長	福井 誠
	16	フジッコ株式会社	代表取締役社長	福井 正一
	17	流通科学大学	商学部長	福田 司文
	18	流通科学大学	副学長	藤井 啓吾
	19	学校法人中内学園 流通科学大学	法人事務局次長兼学生部長	細峪 輝行
	20	有朋会	幹事	三浦 芳嗣
	21	エースコック株式会社	代表取締役社長	村岡 寛
	22	株式会社中新ビル	代表取締役社長	門 日勲
	23	有朋会	副会長	安田 政彦
	24	播州信用金庫	理事長	和田 長平
	25	和田興産株式会社	代表取締役会長	和田 憲昌

⑤学校法人の組織図(2018.4)



⑥法人が関連する会社

- 1.会社名 流科サービス株式会社
- 2.事業内容 学内のコンビニエンスストア経営、教職員及び学生用パソコン・システムサポート、自動販売機の管理、
袴レンタル 等
- 3.総資産 57,790 千円 純資産 52,608 千円 資本金 50,000 千円(中内学園 100%出資)
- 4.従業員数等 取締役 3 名、従業員 6 名
- 5.営業状況 営業収益 48,730 千円、経常利益 2,077 千円(2019 年 2 月期)

なお、コンビニエンスストアは売上高ではなく、FC 契約に基づくオーナー収入を営業収益として算出

二	事業の概要
---	-------

(1) 2018 年度事業報告

2018 年度事業は、「中内学園中長期計画（第三次）2017 年度～2019 年度」に基づく、単年度の事業計画であり、“オンリーワン・ナンバーワン”の構築、“夢の種プロジェクト（なりたい自分を発見し、夢に近づく 4 年間）の構築”を実現するためのものです。

1. 在籍者数 3,747 名（2019 年 5 月 1 日時点）（収容定員 3,600 名）
2. 入学者数 982 名（入学定員 900 名）
※志願者数 4,742 名（前年度 2,870 名、前年度比 165.2%）
3. 退学・除籍者 243 名
4. 全ての授業を「知識教授型授業」から「考える学習型授業」への変革
「考える学習型授業（豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソンを育てるため、学生と教員が双方向で進める授業）」の現行カリキュラムへの導入割合 70.3%
5. 課外活動加入率 54.7%
※文化会クラブ加入率+1.4%
6. ゼミ担当教員、就職部職員、クラブ顧問・副顧問による就職活動支援
就職率 98.5%
※就職希望者に占める就職内定者の割合
7. 兵庫県内に本社がある企業約 900 社（従業員 100 名以上）への就職実績 438 社（新規企業 前年+30 社）
中四国県内に本社がある企業約 200 社（従業員 100 名以上）への就職実績 102 社（新規企業 前年+10 社）

(2)教育研究の概要

①教育研究上の基本となる組織に関する情報(2018.5.1現在)

流通科学大学

学部	学科	コース
商学部	経営学科	リテールマネジメントコース
		経営戦略コース
		会計コース
	マーケティング学科	マーケティングコース
		流通システムコース
経済学部	経済学科	現代経済コース
		地域まちづくりコース
	経済情報学科	経済情報コース
		情報システムコース
人間社会学部	人間社会学科	社会システムコース
		生活文化コース
		心理コース
	観光学科	観光事業コース
		ホテル・ブライダルコース
	人間健康学科	健康マネジメントコース
		スポーツ健康コース

流通科学大学大学院

研究科	課程
流通科学研究科	流通科学専攻(修士課程)(博士後期課程)

②教員組織及び教員数並びに教員の保有学位、業績に関する情報(2018.5.1現在)

流通科学大学

学部	学科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数	うち 博士学位 取得者数	うち 修士学位 取得者数	うち 産業界 出身者数
商学部	経営学科	27	16	8	3	13	11	11
	マーケティング学科	18	7	9	2	8	10	0
経済学部	経済学科	14	11	2	1	9	5	5
	経済情報学科	10	7	3	0	8	1	4
人間社会学部	人間社会学科	14	9	5	0	5	8	7
	観光学科	11	9	2	0	3	5	8
	人間健康学科	10	4	5	1	6	4	6

流通科学大学大学院

研究科	教員数	うち 教授数	うち 准教授数	うち 講師数
流通科学研究科	36	29	7	0

※流通科学研究科教員については、大学と兼任

③学生に関する情報

<入学に関する基本的な方針>

- ・高校時代の成果・体験・経験、例えば「課外活動」「特技」「社会的活動や貢献」「資格取得」「プレゼンテーション力」などを活用して、大学入学後もさらにその分野を極め活躍しようと思う者、また、将来、家業の事業を継承しさらに発展を目指そうとする者や起業を目指す者など、さまざまな切り口で適性を持つ前向きな人材を、多彩な入試制度で受け入れる。
- ・高校段階の学業面で身につけておくべきことは、国語分野では幅広い話題についての文章の読解力・作成能力、英語分野では基本的な文章の読解力と、基本的な情報・考えを英語で伝える力、数学分野では基礎的な計算力や根底となる公式による論理的展開能力、社会科分野では学習した科目の基本事項の理解とその学習から得られる思考力と判断力である。

<2018年度 入学生数>

流通科学大学

学部	募集定員	入学者数
商学部	450名	482名
経済学部	200名	238名
人間社会学部	250名	293名
学部計	900名	1,013名

流通科学大学大学院

研究科	課程	募集定員	入学者数
流通科学研究科	修士課程	20名	18名
	博士後期課程	5名	1名
大学院計		25名	19名

総合計	925名	1,032名
-----	------	--------

<学部及び収容定員・学生数の状況(2018.5.1現在)>

流通科学大学

学部	収容定員	学生数
商学部	1,800名	1,672名
経済学部	800名	827名
人間社会学部	1,000名	1,072名
情報学部	－	1名
総合政策学部	－	33名
サービス産業学部	－	35名
学部計	3,600名	3,640名

流通科学大学大学院

研究科	課程	収容定員	学生数
流通科学研究科	修士課程	40名	38名
	博士後期課程	15名	4名
大学院計		55名	42名

< 学生数－内訳 (2018.5.1現在) >

流通科学大学

区 分		1 学年			2 学年			3 学年			4 学年						合 計		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	うち 留年	女子	うち 留年	合計	うち 留年	男子	女子	合計
商学部	商学科										81	81	6	6	87	87	81	6	87
	経営学科	230	59	289	212	50	262	206	46	252	139		48		187		787	203	990
	マーケティング学科	147	46	193	129	37	166	73	32	105	96		35		131		445	150	595
	学部計	377	105	482	341	87	428	279	78	357	316	81	89	6	405	87	1313	359	1672
経済学部	経済学科	143	23	166	164	16	180	142	12	154	99		10		109		548	61	609
	経済情報学科	63	9	72	51	5	56	40	3	43	44		3		47		198	20	218
	学部計	206	32	238	215	21	236	182	15	197	143		13		156		746	81	827
人間社会学部	人間社会学科	72	39	111	69	38	107	74	22	96	65		22		87		280	121	401
	観光学科	31	50	81	35	31	66	23	35	58	31		42		73		120	158	278
	人間健康学科	88	13	101	82	13	95	81	18	99	76		22		98		327	66	393
	学部計	191	102	293	186	82	268	178	75	253	172		86		258		727	345	1072
情報学部	経営情報学科										1	1			1	1	1		1
	学部計										1	1			1	1	1		1
総合政策学部	総合政策学科										31	31	2	2	33	33	31	2	33
	学部計										31	31	2	2	33	33	31	2	33
サービス産業学部	観光学科										7	7	1	1	8	8	7	1	8
	サービスマネジメント学科										25	25	2	2	27	27	25	2	27
	学部計										32	32	3	3	35	35	32	3	35
全学部計		774	239	1013	742	190	932	639	168	807	695	145	193	11	888	156	2850	790	3640

流通科学大学大学院

区 分		1 学年			2 学年			3 学年			4 学年						合 計		
		男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	女子	合計	男子	うち 留年	女子	うち 留年	合計	うち 留年	男子	女子	合計
流通科学研究科	修士課程	8	10	18	12	8	20										20	18	38
	博士後期課程	1		1				1	2	3							2	2	4
大学院計		9	10	19	12	8	20	1	2	3							22	20	42
総合計		783	249	1032	754	198	952	640	170	810	695	145	193	11	888	156	2872	810	3682

<卒業生数・就職者数・進学者数>

流通科学大学

学部	学科	2018年度 卒業生数	卒業生数 累計	2018年度 就職者数	2018年度 進学者数
商学部	流通学科	0(0)	5,044	0(0)	0(0)
	経営学科(旧)	0(0)	4,265	0(0)	0(0)
	ファイナンス学科	0(0)	1,619	0(0)	0(0)
	サービス産業学科	0(0)	815	0(0)	0(0)
	商学科	39(20)	1,231	13(9)	0(0)
	経営学科	146(0)	146	124(0)	0(0)
	マーケティング学科	95(0)	95	78(0)	4(0)
	計	280(20)	13,215	215(9)	4(0)
経済学部	経済学科	94(0)	94	84(0)	1(0)
	経済情報学科	34(0)	34	27(0)	1(0)
	計	128(0)	128	111(0)	2(0)
人間社会学部	人間社会学科	73(0)	73	61(0)	1(0)
	観光学科	60(0)	60	54(0)	1(0)
	人間健康学科	85(0)	85	78(0)	1(0)
	計	218(0)	218	193(0)	3(0)
情報学部	経済情報学科	0(0)	2,663	0(0)	0(0)
	経営情報学科	0(0)	2,882	0(0)	0(0)
	計	0(0)	5,545	0(0)	0(0)
総合政策学部	総合政策学科	13(5)	517	6(3)	0(0)
	計	13(5)	517	6(3)	0(0)
サービス産業学部	観光・生活文化事業学科	0(0)	1,257	0(0)	0(0)
	医療福祉サービス学科	0(0)	1,137	0(0)	0(0)
	観光学科	4(4)	212	0(3)	0(0)
	サービスマネジメント学科	12(8)	502	3(2)	0(0)
	計	16(12)	3,108	3(5)	0(0)
学部計		655(37)	22,731	528(17)	9(0)

※2018年度卒業生数のうち、()の数字は2018年度9月卒業者数

流通科学大学大学院

学位	修士課程				博士課程			
	2018年度 卒業生数	卒業生数 累計	2018年度 就職者数	2018年度 進学者数	2018年度 卒業生数	卒業生数 累計	2018年度 就職者数	2018年度 進学者数
流通科学	12(2)	312	1(0)	2(0)	1(0)	13	1(0)	0(0)

※2018年度卒業生数のうち、()の数字は2018年度9月卒業者数

2018年度 主な就職先 ※業種・分野毎五十音順

建設・不動産	(株)浅沼組		<スーパー・コンビニエンスストア>		ANA関西空港(株)
	(株)エイブル		(株)イズミ		(株)上組
	(株)ジェイアール西日本総合ビルサービス		(株)関西スーパーマーケット		鴻池運輸(株)
	昭和住宅(株)		(株)光洋		四国旅客鉄道(株)
	住友不動産販売(株)		(株)セブン-イレブン・ジャパン	運輸	センコー(株)
	積和不動産関西(株)		(株)トーホースタ		(株)辰巳商会
	大日通信工業(株)		(株)ハローズ		西日本高速道路/パトロール関西(株)
	大和ハウス工業(株)		(株)阪急オアシス		日通NECロジスティクス(株)
	タマホーム(株)		(株)マルアイ		(株)ホームロジスティクス
	美樹工業(株)		(株)マルハチ		名鉄運輸(株)
製造	(株)伊藤園		(株)万代		<銀行>
	伊東電機(株)		(株)ライフコーポレーション		(株)鳥取銀行
	大阪富士工業(株)		<アパレル>		(株)みなと銀行
	(株)神戸製鋼所		青山商事(株)		<信用金庫>
	(株)コーセー		(株)イッセイミヤケ		但陽信用金庫
	(株)再春館製薬所		(株)しまむら		西兵庫信用金庫
	山陽特殊製鋼(株)	小売	<自動車販売>		日新信用金庫
	(株)千代田精機		(株)神戸マツダ	金融	播州信用金庫
	(株)ドンク		(株)スズキ自販兵庫		姫路信用金庫
	日本盛(株)		トヨタカローラ姫路(株)		兵庫信用金庫
卸売	フジッコ(株)		ネットトヨタ兵庫(株)		<その他金融>
	山崎製パン(株)		兵庫スバル自動車(株)		あいおいニッセイ同和損害保険(株)
	アシックスジャパン(株)		兵庫ダイハツ販売(株)		第一生命保険(株)
	伊丹産業(株)		兵庫トヨタ自動車(株)		兵庫南農業協同組合
	(株)大阪めいらく		兵庫日産自動車(株)		兵庫六甲農業協同組合
	オーバスネイチメディカル(株)		<その他小売>		みのり農業協同組合
	加藤産業(株)		アサヒ飲料販売(株)	サービス	総合警備保障(株)
	北里メディカルサービス(株)		(株)カインズ		日本財団(株)
	資生堂ジャパン(株)		(株)コスモス薬品		(株)Pacific Diner Service
	神港魚類(株)		(株)ジンズ		(株)パソナ
情報・通信	(株)神明ホールディングス		(株)三城		<国家公務>
	(株)ドウシシャ		(株)メガネトップ		防衛省自衛隊
	(株)トーホー		(株)ヨドバシカメラ		<地方公務>
	藤原産業(株)		ロイヤルホームセンター(株)		尼崎市役所
	村中医療器(株)	電気	北陸電力(株)	公務	東大阪市役所
	(株)ヤマソロ		<ホテル>		三木市役所
	ユーシーシーフーズ(株)		(株)神戸ポートピアホテル		大阪市消防局
	リコージャパン(株)	観光	(株)西村屋		神戸市消防局
	(株)アイレックス		(株)ホテルニューアワジ		大阪府警察本部
	(株)ヴァンクス				兵庫県警察本部
情報・通信	コベルコソフトサービス(株)	物品賃貸業	大和リース(株)		
	(株)サイプレス・ソリューションズ		(株)トヨタレンタリース神戸		
	(株)システム・サイエンス		西尾レントオール(株)		
	東京コンピュータサービス(株)	医療・福祉	(株)スーパー・コート		
	トランスコスモス(株)		(福)阪神福祉事業団		
	パーソルプロセス&テクノロジー(株)		(一社)日の出医療福祉グループ		

④教育課程に関する情報

<授業科目及び単位数>

※大学ホームページにて公開(PDFファイルのダウンロード可)

<シラバス(講義概要)>

※大学ホームページにて公開

⑤学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっての基準に関する情報

流通科学大学

学部	学科	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
商学部	商学科		128	学士(商学)
	経営学科		124	学士(経営学)
	マーケティング学科		124	学士(マーケティング学)
経済学部	経済学科		124	学士(経済学)
	経済情報学科		124	学士(経済情報学)
人間社会学部	人間社会学科		124	学士(人間社会学)
	観光学科		124	学士(観光学)
	人間健康学科		124	学士(人間健康学)
総合政策学部	総合政策学科		128	学士(総合政策)
サービス産業学部	観光学科		128	学士(観光)
	サービスマネジメント学科		128	学士(サービスマネジメント)

流通科学大学大学院

研究科	課程	修業 年限	必要修得 単位数	取得可能な 学位及び専攻名称
流通科学研究科	修士課程	2年	30	修士(流通科学)
	博士後期課程	3年	12	博士(流通科学)

⑥学習環境に関する情報

流通科学大学・流通科学大学院

キャンパス	学部・研究科	所在地	主な交通手段
流通科学大学キャンパス	商学部	神戸市西区学園西町3-1	神戸市営地下鉄 西神山手線「学園都市駅」 下車北へ徒歩5分
	経済学部		
	人間社会学部		
	総合政策学部		
	サービス産業学部		
	流通科学研究科		

<キャンパスの概要>



- | | | |
|----------------|-----------------------|-------------------------|
| 1. ベルタワー | 9. ダイエー資料館 | 17. 学生専用駐車場 |
| 2. 附属図書館 | 10. 講義棟2、研究棟2 | 18. RYUKA HALL |
| 3. メディアセンター | 11. 講義棟3、研究棟3 | 19. ローソン流科大実習店 |
| 4. 本部棟(事務局・受付) | 12. 保健室 | 20. RYUKA DINING(レストラン) |
| 5. 中内功記念館 | 13. 講義棟5、研究棟5 | 21. テニスコート |
| 6. 中庭 | 14. クラブハウス | 22. 人工芝グラウンド |
| 7. 講義棟1、研究棟1 | 15. アスレチック棟 | 23. 西グラウンド |
| 8. 大学院 | 16. 講義棟6(教務部・就職部・学生部) | 24. 国際交流施設学生寮 |



ベルタワー(1)



中内功記念館(5)



中庭(6)



アスレチック棟(15)



講義棟6(16)



RYUKA DINING(レストラン)(20)

<運動施設の概要>

・アスレチック棟

スポーツの振興を通じて課外活動の活性化及び地域交流の推進を目指し、本学20周年記念事業の一環として建設し、2006年4月に竣工。



・流通科学大学野球場

両翼100メートル、中堅122メートル、外野に人工芝を配した野球場で、主に硬式野球部、軟式野球部などの活動に利用。



・グラウンド

人工芝グラウンドと西グラウンドの2面あり、授業および体育系を中心とした課外活動団体が利用。



<課外活動の状況>

課外活動の目的: 課外活動を通して、自主性・協調性・リーダーシップを学び取り、また生涯続く友人関係のネットワークを築き上げるとともに、体力・技術・メンタルを鍛える。

クラブ・サークル加盟団体: 5の独立団体と32の体育会系クラブと12の文化会系クラブ、また18の体育会系、12の文化会系サークルもあり、在学生全体の54.7%(2018年度実績)が何らかの課外活動団体に所属している。

⑦学生納付金に関する情報

流通科学大学

項目			入学時	後期(9月)	納付額
初年度のみ	入学金		300,000円	—	300,000円
	受託徴収金	教育後援会入会金	10,000円	—	10,000円
		学生教育研究災害傷害保険料	4,140円	—	4,140円
学費	授業料		385,000円	385,000円	770,000円
	施設設備維持拡充費		50,000円	50,000円	100,000円
	教育充実費		50,000円	50,000円	100,000円
	受託徴収金	教育後援会費	42,000円	—	42,000円
合計			841,140円	485,000円	1,326,140円

2年目以降の納付金	前期(4月)	後期(9月)	納付額
	527,000円	485,000円	1,012,000円

<入学時までに必要な費用>

一次手続費用(入学金)	二次手続費用(前期授業料等)
300,000円	541,140円

入試方式によっては、合格後の入学手続をする場合、一括(入学金、前期納付金)での納付となる。

2年次編入の場合、学生教育研究災害傷害保険料は3,230円(3年間分)、3年次編入の場合は2,170円(2年間分)となる。

■授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。

■2年目以降の納付金は、前期および後期納付金。

■学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で通知する。

■各締切日までに入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと扱う。

■いったん納入された入学金、書類などは、いかなる場合も返還しないこととする。

流通科学大学大学院

項目			納付額		納付時期
			修士課程	博士後期課程	
初年度のみ	入学金		300,000円	300,000円	入学 手続時
	受託徴収金	学生教育研究災害傷害保険料	2,170円	3,230円	
	初年度のみ 合計		302,170円	303,230円	
前期	前期授業料		320,000円	320,000円	
	前期教育充実費		50,000円	50,000円	
	受託徴収金	教育後援会費	30,000円	30,000円	
	前期納付金 合計		400,000円	400,000円	
入学時納付金 合計			702,170円	703,230円	
後期	後期授業料		320,000円	320,000円	9月1日 ～ 10月31日
	後期教育充実費		50,000円	50,000円	
後期納付金 合計			370,000円	370,000円	
納付金合計			1,072,170円	1,073,230円	

■本大学学部卒業後、大学院修士課程に入学する者、及び本大学院修士課程終了後博士後期課程に入学する者は、その入学金を全額免除する。

■授業料等納付金は、在学中も物価上昇率、教育研究条件向上分などを勘案して改定されることがある。

■学生教育研究災害傷害保険料は、改定されることがある。その場合は、合格時に送付する入学手続要項で通知する。

⑧学生支援と奨学金に関する情報

< 学生支援組織 >

学生支援	組織名	機能
就職支援	就職部	・就職ガイダンス ・個別面談・面接トレーニング ・グループワーク、グループディスカッション練習 ・OB・OG就職相談会 ・就職対策宿泊セミナー ・4年生による就職活動相談会 ・就職父母懇談会 ・就活アドバイザー・チューター制度 ・業界研究セミナー ・SPI対策講座、SPI対策模擬試験
進学支援	入試部 教務部	・大学院入試制度の紹介等
学修支援	教務部	・卒業要件、単位修得状況、履修計画など学修・成績などに関する相談受付(随時)、低単位取得者面談 ・学修相談会(年5回程度)
生活支援(住居・アルバイト等)	学生部学生課 学生部留学生支援課	・不動産会社の紹介(下宿) ・掲示板を通じてのアルバイト紹介
経済支援	学生部学生課 学生部留学生支援課	・日本人学生・留学生・帰国生徒・大学院生対象の各種奨学金紹介 ・学費延納手続き
保健・衛生・メンタルヘルス等	学生部学生課(保健室)	・学校医による定期的な健康相談(内科医、精神科医) ・健康相談 ・臨床心理士による心の相談やスキルトレーニング等 ・怪我、体調不良の際の応急手当、病院の紹介等 ・健康教育(喫煙、食生活、アルコール、ドラッグ、日常生活リズムなど) ・保険加入、請求手続き ・健康診断

＜奨学金＞

『日本人学生対象の奨学金制度』

「中内学園特別奨学金」

（主旨）

本学が育てたい人物像として掲げる「ネアカ のびのび へこたれず」の精神にふさわしい学業成績基準及び学業成績以外基準を満たした者に、その成果を称え、更なる向上を奨励することを目的に支給する。

（資格）

- ・各学年 10 名以内
- ・他の奨学金との重複受給可能

（支給方法） 給付

（支給期間） 1 年間

（金額） 200, 000 円（年額）

（2018 年度実績） 4 年生 6 名、3 年生 10 名、2 年生 10 名

「下宿サポート奨学金」

（主旨）

入学時に下宿を予定している者を対象に 30 万円を支給する。

（資格）

入学後下宿予定の者

（支給方法） 給付

（支給期間） 入学時 1 回限り

（金額） 30 万円

（2018 年度実績） 166 名

「一般入試（前期型、中期型）奨学金」

（主旨）

一般入試（前期型、中期型）で合格した成績上位 30 名に 50 万円を支給する。

（資格）

- ・入試成績上位 30 名（1 年次）
- ・一定の成績条件をクリアした者（2 年次以降）

（支給方法） 給付

（支給期間） 4 年間 ※毎年審査

（金額） 50 万円（年額）

（2018 年度実績） 22 名 ※2018 年度入試より制度廃止のため、2～4 年生の実績

（備考） 2 年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「一般入試（前期 2 科目型、中期 2 科目型）奨学金」

（主旨）

一般入試（前期 2 科目型、中期 2 科目型）で合格した成績上位 1～10 位に 77 万円、11～40 位に 50 万円を支給する。

（資格）

- ・入試成績上位 40 名（1 年次）
- ・一定の成績条件をクリアした者（2 年次以降）

（支給方法） 給付

（支給期間） 4 年間 ※毎年審査

（金額） 77 万円または 50 万円 ※いずれも年額

（2018 年度実績） 77 万円 5 名、50 万円 12 名

（備考） 2 年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「一般入試(前期3科目型)奨学金」

(主旨)

一般入試(前期3科目型)で合格した成績上位1～5位に77万円を支給する。

(資格)

- ・入試成績上位5名(1年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 77万円(年額)

(2018年度実績) 77万円1名

(備考) 2年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「一般入試(中期3科目型)奨学金」

(主旨)

一般入試(中期3科目型)で合格した成績上位1～5位に77万円を支給する。

(資格)

- ・入試成績上位5名(1年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 77万円(年額)

(2018年度実績) 77万円5名

(備考) 2年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「公募推薦入試奨学金」

(主旨)

英語、国語、面接の3科目の合計の得点率が70%以上かつ成績上位10名の合格者に50万円を支給する。

(資格)

- ・英語、国語、面接の3科目の合計の得点率が70%以上かつ成績上位10名の合格者(1年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 50万円(年額)

(2018年度実績) 8名

(備考) 2年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「地域創生型推薦入試奨学金」

(主旨)

地域創生型推薦入試で合格した成績上位30名に50万円を支給する。

(資格)

- ・入試成績上位30名(1年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2年次以降)

(支給方法) 給付

(支給期間) 4年間 ※毎年審査

(金額) 50万円(年額)

(2018年度実績) 2名 ※2017年度入試より制度廃止のため、3年生の実績

(備考) 2年次以降も一定の条件を満たせば継続支給

「プレゼンテーション入試奨学金」

(主旨)

プレゼンテーション入試での得点率が 70%以上かつ成績上位 20 名の合格者に授業料半額(38 万 5 千円)を免除

(資格)

- ・入試成績上位 20 名(1 年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2 年次以降)

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 38 万 5 千円(年額)

(2018 年度実績) 5 名

(備考) 2 年次以降も一定の条件を満たせば継続免除

「RYUKA 特別奨学金(授業料全額免除)」

(主旨)

センター試験利用入試にて合格し、一定の条件を満たした者全員に授業料全額(77 万円)を免除

(資格)

- ・大学入試センター試験の一定の得点率をクリアした者(1 年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2 年次以降)

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 77 万円(年額)

(2018 年度実績) 61 名

(備考) 2 年次以降も一定の条件を満たせば継続免除

「RYUKA 特別奨学金(授業料半額免除)」

(主旨)

センター試験利用入試にて合格し、一定の条件を満たした者全員に授業料半額(38 万 5 千円)を免除

(資格)

- ・大学入試センター試験の一定の得点率をクリアした者(1 年次)
- ・一定の成績条件をクリアした者(2 年次以降)

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 4 年間 ※毎年審査

(金額) 38 万 5 千円(年額)

(2018 年度実績) 53 名

(備考) 2 年次以降も一定の条件を満たせば継続免除

「指定校推薦(商業系高校協定校)入試奨学金」

(主旨)

指定校推薦(協定校)入学試験で出願した者のうち、本学が指定する資格2つを取得済みの者に対し、1 年次前期授業料から 30 万円を免除

(資格)

- ・指定校推薦(商業系高校協定校)入学試験で出願した者のうち、本学が指定する資格2つを取得済みの者

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 30 万円

(2018 年度実績) 9 名

「流通科学大学卒業生子女入学奨学金」

(主旨)

流通科学大学の入学試験を経て新たに入学した学生で、学校法人中内学園教職員又は流通科学大学卒業生の子女に対し、30 万円を支給する

(資格)

・流通科学大学の入学試験を経て新たに入学した学生で、学校法人中内学園教職員又は流通科学大学卒業生の子女である者

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 30 万円

(2018 年度実績) 3 名

「兄弟姉妹入学奨学金」

(主旨)

本学に兄弟姉妹で同時に学ぶ学生に対し 10 万円を支給する。

(資格)

- ・新入生であること
- ・兄弟姉妹が流通科学大学及び大学院の在学者であること
- ・兄弟姉妹が申請時に在学をしている者 ※兄弟姉妹が休学の者は除く

(支給方法) 給付

(支給期間) 入学時 1 回限り

(金額) 対象者 1 名に対し 10 万円

(2018 年度実績) 13 名

「日本学生支援機構」

(主旨)

学校教育法に規定する大学に在学する学生で、学業・人物ともに優秀であり、かつ健康で、経済的理由により修学が著しく困難である者。

(選考)

・第一種奨学金

特に優れた学生で経済的理由により、著しく修学困難な者に貸与する。

・第二種奨学金

第一種奨学金より、ゆるやかな基準によって、選考された者に貸与する。

(支給方法) 貸与

(支給期間) 採用になった年の貸与開始から卒業までの最短修業期間

(金額)

・第一種奨学金

自宅通学者 2 万円、3 万円、4 万円、5 万 4 千円の中から選択

自宅外通学者 2 万円、3 万円、4 万円、5 万円、6 万 4 千円の中から選択

・第二種奨学金 2 万、3 万、4 万、5 万、7 万、8 万、9 万、10 万、11 万、12 万の中から選択

(2018 年度実績) 第一種 538 名、第二種 1,225 名

(備考) 返還 第一種奨学金＝無利子、第二種奨学金＝有利子

「(公財)瀧川奨学財団」

(主旨)

学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由で修学困難な者。

(資格)・兵庫県出身者の者、または家族が県内に住んでいる者。

(支給方法) 給付

(支給期間) 4 年間

(金額) 2 万 5 千円(月額)

(2018 年度実績) 4 名

「(公財)山村育英会奨学金」

(主旨)

大学学部に在学する志操堅固、学力優秀な者(2年生以上)

(支給方法) 給付

(支給期間) 3年間

(金額) 3万円(月額)

(2018年度実績) 3名

「その他の奨学金」

神戸市大学奨学金[給付:月額1万5千円] 1名

三木市教育委員会奨学金[給付:月額9千円] 2名

交通遺児育英会奨学金[貸与:月額4万円または5万円または6万円] 3名

労災遺児育英会奨学金[給付:月額3万円] 1名

あしなが育英会[月額7万円(うち貸与4万円、給付3万円)] 1名

『留学生・社会人・帰国生徒対象の奨学金制度』

「中内学園特別奨学金」

(主旨)

本学が育てたい人物像として掲げる「ネアカ のびのび へこたれず」の精神にふさわしい学業成績基準及び学業成績以外基準を満たした者に、その成果を称え、更なる向上を奨励することを目的に支給する。

(資格)

- ・各学年 8 名以内
- ・留学生、社会人入試、帰国生徒入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること
- ・アジアスカラシップ・岡田スカラシップを除く他の奨学金受給、及び授業料減免の学生は対象外

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間

(金額) 636, 000 円(年額)

(2018 年度実績) 4 年生 4 名、3 年生 1 名、2 年生 4 名

「中内学園大学院特別奨学金」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、研究心が旺盛で、かつ経済的理由により修学が困難と認められる者に対し支給する。

(資格)

- ・大学院修士課程在学者及び大学院博士後期課程在学者

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間

(金額) 修士課程 7.1 万円(月額) 博士後期課程 8 万円(月額)

(2018 年度実績) 修士 15 名 博士 2 名

「私費外国人留学生授業料減免」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、かつ経済的理由により修学が困難と認められる「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・私費外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1 年間

(金額) 授業料の 50%もしくは 30%

(2018 年度実績) 授業料 50%減免 学部生 12 名、大学院生 11 名

授業料 30%減免 学部生 216 名 大学院生 0 名

「私費外国人留学生精勤者等授業料減免」

(主旨)

学業・人物ともに優秀であり、「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し免除する。

(資格)

- ・私費外国人留学生
- ・学業・人物ともに優秀であること

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1 年間

(金額) 授業料の 50%もしくは 30%

(2018 年度実績) 授業料 50%減免 学部生 0 名、大学院生 3 名

授業料 30%減免 学部生 108 名 大学院生 0 名

「岡田スカラシップ」

(主旨)

外国人留学生入学試験のうちベトナム会場で受験し、優秀な成績を収め入学するベトナム人留学生で、留学に係る学資の支弁が困難な者に対して支給する。

(資格)

外国人留学生入学試験のうちベトナム会場で受験し、優秀な成績を収めた者(各年度の入学生のうち3名以内)

(支給方法) 免除・給付

(支給期間) 2年間

(金額) 1年次 160万円(年額)、2年次 100万円(年額)

(2018年度実績) 2名

「アジアスカラシップ」

(主旨)

外国人留学生特別指定校推薦入試で合格し、特に優秀な成績を収め入学するアジア各国の留学生で、留学に係る学資の支弁が困難な者に対して支給する。

(資格)

アジア各国の国籍を保有する成績優秀者で、学費の支弁が困難な者。但し、外国人留学生特別指定校推薦入試による授業料半額免除と重複する場合は、本奨学金のみを対象とする。

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 2年間～4年間

(金額)

(1) 1年次 80万円(年額)、2年次 20万円(年額)、3年次以降は支給なし

(2) 1年次 120万円(年額)、2年次 60万円(年額)、3年次以降は支給なし

(3) 1年次 120万円(年額)、2年次 110万円(年額)、3年次 110万円(年額)、4年次 110万円(年額)

(2018年度実績) (1)5名、(3)1名

「外国人留学生特別指定校推薦入試奨学金」

(主旨)

外国人留学生特別指定校からの推薦による留学生入試に出願し、合格した者の授業料半額(38万5千円)を免除

(資格)

外国人留学生特別指定校推薦入試で合格し入学した者。但し、アジアスカラシップ制度による奨学金を受給する者は、本制度の対象としない。

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1年間 ※毎年審査

(金額) 38万5千円(年額)

(2018年度実績) 15名

「外国人留学生編入学試験奨学金」

(主旨)

外国人留学生対象の入試で合格し、編入学生として入学する留学生に対して、授業料30%(23万1千円)を免除

(資格)

外国人留学生対象の編入学試験で合格し入学した者(「留学」の資格を持つ外国人留学生)を対象とする。

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1年間 ※毎年審査

(金額) 23万1千円(年額)

(2018年度実績) 19名

「特別指定校からの推薦による外国人留学生編入学試験奨学金」

(主旨)

外国人留学生対象の特別指定校からの推薦入試で合格し、編入学生として入学する者を対象とし、授業料半額(38万5千円)を免除

(資格)

特別指定校からの推薦による外国人留学生対象の編入学試験で合格し入学した者

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 1年間 ※毎年審査

(金額) 38万5千円(年額)

(2018年度実績) 4名

「Welcome to KOBE 奨励金」

(主旨)

流科大がある「神戸」で学ぶ留学生を支援する奨励金として、1年次前期授業料から30万円を免除

(資格)

外国人留学生を対象とした入試方式で入学した者

(支給方法) 授業料 免除

(支給期間) 入学時1回限り

(金額) 30万円

(2018年度実績) 147名

「学習奨励費」

(主旨)

学習の成果を称え、更なる向上を奨励するために、成績優秀な「留学」の資格を持つ外国人留学生に対し支給する。

(資格)

- ・留学生入試入学者
- ・学業・人物ともに優秀であること
- ・経済的理由により修学が困難と認められること

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間 ※毎年審査

(金額) 学部生4万8千円(月額) 大学院生4万8千円(月額)

(2018年度実績) 学部生2名、 大学院生1名

(備考) 財源:文部科学省

「兵庫県私費留学生奨学金」

(主旨)

学業優秀、品行方正、身体強健でありながら経済的理由で修学困難な者。

(資格)

- ・兵庫県内の大学に在学する私費外国人留学生。

(支給方法) 給付

(支給期間) 1年間 ※毎年審査

(金額) 3万円(月額)

(2018年度実績) 学部生11名

(備考) 財源:兵庫県国際交流協会

「ロータリー米山奨学金」

(主旨)

将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。

(資格)

指定校となっている大学院修士課程 1、2 年を対象とする。

(支給方法) 給付

(支給期間) 最長 2 年間

(金額) 14 万円(月額)

(2018 年度実績) 大学院生 1 名

(備考) 財源:日本全国のロータリアン(ロータリークラブ会員)の寄付金

「神戸菅原奨学金」

(主旨)

神戸市は1985年に、留学生奨学金制度を創設しました。更に、1988年に篤志家の(故)菅原一郎氏から10億円の寄附を受け、1989年に神戸市留学生支援等基金条例を制定し、以降、毎年市内の大学で学ぶ私費留学生の中から奨学生を選考して、1人月額8万円の奨学金を1年間支給しています。

(資格)

外国人私費留学生で、「留学」ビザを有する者

学部または大学院に正規の学生として在学している者(ただし、学部生については3年生以上とする。留年生は対象外)

神戸市内などで行われる国際交流行事に積極的に参加できる者

2018年4月から2019年3月の期間に、他の奨学金を受給しない者

面接予定日に神戸国際協力交流センター(三宮)まで行ける者

(支給方法) 給付

(支給期間) 1 年間

(金額) 月額 8 万円

(2017 年度実績) 学部生 2 名

(備考) 財源:神戸市

なお、『留学生・社会人・帰国生徒対象の奨学金制度』のうち、「平和中島財団奨学金」については、2018 年度、対象となる者がいなかった。

「その他の奨学金」

国費外国人留学生奨学金・・・大学院生 1 名

イオン 1%クラブ奨学金・・・学部生 6 名

JEES 日本語教育普及奨学金・・・学部生 1 名

(3)管理運営の概要

【ガバナンス】

「理事会」……………学校法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。

「常任理事会」……………理事会の決定した方針に基づき、学園運営全般に係る具体的施策の策定に関する事項、その他学園の運営に関する重要事項を決定する。

「評議員会」……………予算、事業計画、寄附行為の変更等について、理事長があらかじめ諮問。

「学長会議」……………本学の学則その他教学に関する重要な規則、本学の重要な施設設備、本学の入試制度・募集定員及び入試日程、本学学生の卒業の要件の基準、本学学生の身分・懲戒及び学生支援、本学の教育課程の編成の基準及び全学の調整に関する学長の諮問、本学の教員の採用及び昇格の全学の調整に関する学長の諮問、本学の教育研究に係る自己点検・評価及び第三者評価に関する学長の諮問、その他本学の運営に関する学長の諮問等について調査審議する。

「教授会」……………学生の入学・休学・復学・退学・再入学・留学及び除籍、学生の卒業、学生の表彰及び懲戒、学生の厚生補導、教育課程の編成に関する学長の諮問、教員の採用及び昇格に関する学長の諮問、その他本学の教育研究に関する学長の諮問等について調査審議する。

「研究科委員会」……………学生の入学・休学・復学・退学・再入学・留学及び除籍、学位論文の審査及び課程修了認定、学生の表彰及び懲戒、学生の厚生補導、教育課程の編成、大学院担当教員の選考、その他大学院研究科の教育研究に関する学長の諮問等について調査審議する。

2018 年度の開催回数について

理事会	4 回	学長会議	11 回
常任理事会	6 回	教授会	48 回(商学部 16 回、経済学部 16 回、人間社会学部 16 回)
評議員会	4 回	研究科委員会	7 回

【自己点検・評価】

<自己点検・評価の目標>

自己点検・評価は本学における各種の取り組みの検証・改善を目的とする。

このために自己点検・評価の手法と評価の指標や目標を明確にし、自己点検・評価を Plan-Do-Check-Act のサイクルで検証し、改善に結びつける体制を確立し、さらには第三者による評価に付す仕組みを整えることを目標とする。

<自己点検・評価の経過>

・教育研究等活動報告

各教員の教育研究活動に関しては、1993 年度に「教育研究等活動報告(1992 年度)」が出版され、以降毎年度出版している。これには各教員の研究活動、教育活動、その他の活動が記録されており、特に発行当初から、「授業で工夫・改善した事柄」を記述している点が特色となっている。

2005 年度の「教育研究等活動報告」(2006 年度発行)からは、各教員が恒常的に自己点検・評価をすることを目指し、「今年度の(研究、教育、その他の活動に関する)目標」の項目が付け加えられた。

・学外者による評価・アドバイス

自己点検・評価と関連し、2004 年度からアドバイザリー・コミッティ委員制度を導入した。

これは、実業界のトップから実業界・社会からの要請を踏まえたご意見とアドバイスを受けて、次の項目の協力を得ようとするものである。

1. 学園の経営に関するアドバイス
2. 企業から期待する教育に関するアドバイス
3. 就職とキャリア教育に関する支援
4. 入試に関するアドバイス
5. 産学連携

<現在の自己点検・評価の体制>

・教育審議会

本学の教育研究活動などの自己点検・評価に関する事項を審議する機関を「教育審議会」という。

教育審議会は、副学長のほか、各学部長、大学事務局長、教学部長などから構成されており、具体的な対策が実行しやすい組織になっている。また、全学的な最高意思決定機関である学長会議でも、本学の教育研究に係る自己点検・評価および第三者評価に関する学長の諮問事項を審議する。

自己点検・評価の対象は、本学のあらゆる取り組みにわたり、担当者、担当部署、担当委員会などの日常的な取り組み・日常的な自己点検・評価は、それぞれの委員会報告などでなされている。

これらの総括のため、「自己点検・評価を恒常的に行うための制度システム」が必要であり、本学では自己点検・評価の中核機関として「教育審議会」を位置付けている。

・教育審議会規則

※大学ホームページにて公開 (PDF ファイルのダウンロード可)

【情報公開】

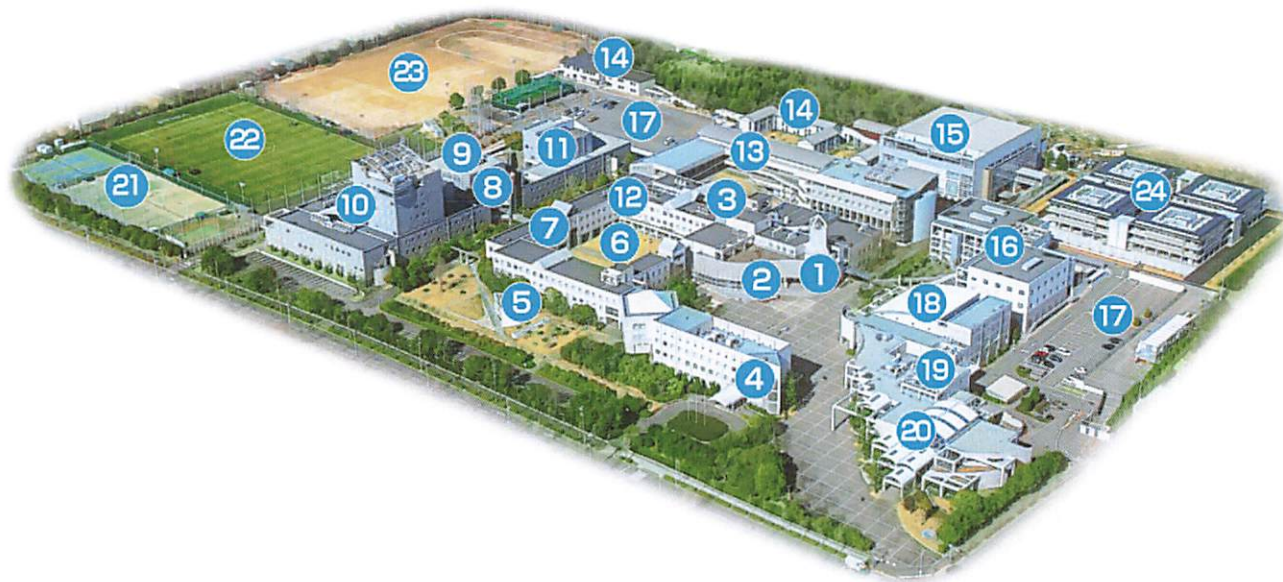
流通科学大学は学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づき、公表すべき教育研究活動の状況をホームページ上において公開し、公正かつ透明性の高い運営の実現に努めている。

・教育研究活動の状況

※大学ホームページにて公開

【施設設備整備】

<大学の全体イメージマップ>



<概要>

- 1.ベルタワー
- 2.附属図書館・・・1F:ラーニングcommonsを設置(グループ学習等の利用が可能)
2F:学生専用自習室を設置
- 3.メディアセンター・・・1F:PC 個人席 45 席
2F:PC 個人席 16 席、グループ席 6 席、ソファ席 14 席、ノート PC16 台、MacPC2 台
- 4.本部棟(事務局・受付)・・・庶務部
- 5.中内功記念館・・・1997 年 9 月開館
- 6.思索の中庭
- 7.講義棟 1、研究棟 1
- 8.大学院
- 9.ダイエー資料館
- 10.講義棟 2、研究棟 2
- 11.講義棟 3、研究棟 3
- 12.保健室
- 13.講義棟 5、研究棟 5
- 14.クラブハウス・・・第 1、第 2、第 3 クラブハウスを設置

15. アスレチック棟・・・バスケットボールコート 2 面(観客席あり)、武道場 2 面、スタジオ 1 面設置(空調完備)
16. 講義棟 6・・・1F:教務部・就職部・学生部、2F:PC 演習室、3F:大教室、中教室
17. 学生専用駐車場
18. RYUKA HALL
19. ローソン流科大実習店
20. RYUKA DINING(レストラン)
21. テニスコート(6 面)
22. 人工芝グラウンド(夜間照明つき)
23. 西グラウンド
24. 国際交流施設学生寮・・・和室、自習室、多目的室(2 室)、レクリエーションルームを設置。寮室は全 192 室(個室)

<大学全体について>

・校地

総面積

流通科学大学キャンパス 164,454.91 平方メートル

・建物

延床総面積 52,783.39 平方メートル

・講義棟

1. 講義棟 1

延床面積 4759.86 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成

2. 講義棟 2

延床面積 4659.56 平方メートル 8 階建の内の 1～3 階 1992 年 3 月完成

3. 講義棟 3

延床面積 2391.68 平方メートル 8 階建の内の 1～3 階 1994 年 3 月完成

4. 講義棟 4

延床面積 2205.79 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1994 年 3 月完成

5. 講義棟 5

延床面積 5618.35 平方メートル 4 階建の内の 1～3 階 2001 年 3 月完成

6. 講義棟 6

延床面積 4918.49 平方メートル 3 階建 2007 年 7 月完成

・本部棟・研究棟

7. 本部棟

延床面積 2719.57 平方メートル 4 階建 1988 年 1 月完成

8. 研究棟 1

延床面積 2925.74 平方メートル 3 階建 1988 年 1 月完成

9. 研究棟 2

延床面積 2687.35 平方メートル 8 階建の内の 4～8 階 1992 年 3 月完成

10. 研究棟 3

延床面積 1196.92 平方メートル 5 階建の内の 4～5 階 1994 年 2 月完成

11. 研究棟 5

延床面積 1680.00 平方メートル 4 階建の内の 4 階 2001 年 3 月完成

・大学附属建物

12. 図書館

延床面積 1559.63 平方メートル 3 階建て 1988 年 1 月完成

蔵書数 201,808 冊、雑誌 1,288 種

13. アスレチック棟

延床面積 6571.22 平方メートル 地下 1 階付き 3 階建 2006 年 4 月完成

14. 中内功記念館

延床面積 453.02 平方メートル 地下 1 階付き 2 階建 1997 年 9 月完成

15. キャッシュレジスター博物館

延床面積 180.00 平方メートル 2 階建の内の 2 階 2011 年 9 月完成

16. RYUKA HALL

延床面積 1892.13 平方メートル 2 階建て 1988 年 1 月完成

17. RYUKA DINING(レストラン)

延床面積 3207.20 平方メートル 3 階建て 1988 年 1 月完成(1994 年 3 月増築)

18. 第 1 クラブハウス

延床面積 2216.93 平方メートル 2 階建て 1989 年 10 月完成(2000 年 1 月増築)

- 19. 第2クラブハウス
延床面積 864.00 平方メートル 2 階建て 2008 年 7 月完成
- 20. 第3クラブハウス
延床面積 441.88 平方メートル 2 階建て 2012 年 2 月完成
- 21. 国際交流施設学生寮
延床面積 7788 平方メートル 3 階建て 2018 年 2 月完成
寮室 192 室
- 22. 駐車場台数
約 403 台(学生用 313 台、教職員用 100 台)
- 23. 駐輪場台数
約 350 台
- 24. グラウンド
西側グラウンド
- 25. 流通科学大学野球場
敷地面積 26090.45 平方メートル 2009 年 11 月完成
(更衣室等 171.95 平方メートル)
- 26. 東京オフィス
賃貸面積 260 平方メートル

・大学航空写真(2018 年 2 月撮影)



(4) 上記(「(1)～(3)」)以外の特長ある取り組みの概要

①教育力向上の取り組みの概要

- ・「学生による授業改善アンケート」導入(1994年度)
- ・「学生による授業評価」結果を教職員に公表し、情報共有(2001年度)
- ・「全学の一斉授業公開(オープンクラスウィーク)制度」導入(2003年度)
- ・FD・SD研修会の継続実施
- ・FD・SDの推進
- ・学生カルテ、学生ポートフォリオの構築・研究
- ・学生アンケートの実施と分析
- ・教育指導法の開発・改善に関する調査研究
- ・研究会、講習会、講演会、公開講座などの開催
- ・研究成果の刊行
- ・学生の学習相談
- ・オフィスアワーや学習の場所の提供に関すること

②国際交流の概要

<海外留学制度>

・交換留学制度

2018年度 本学から派遣人数：0名・本学受け入れ人数：24名(中国：9名 台湾：10名 韓国：2名 ベトナム：3名)

・認定留学制度

2018年度 本学から派遣人数：6名(アメリカ1名・ニュージーランド2名・中国2名・ベトナム1名)

<海外語学研修>

- ・夏季、春季を利用した研修プログラムで、各国の大学の寮やホストファミリーの家に宿泊しながら、語学プログラムを受講。期間は3週間程度。研修実施国(地域)はアメリカ合衆国

日程：2018年8月24日～9月14日

参加状況：8名

<オフキャンパス研修>

- ・開発途上国における開発課題ならびに日本や先進国がどのような開発援助を行なってきたかについて学ぶプログラム。研修実施国(地域)はベトナム。

日程：2018年9月5日～12日

参加状況：22名

<異文化理解>

- ・1年次夏季を利用して、現地での交流体験を実施。期間は3日程度。研修実施国(地域)は香港。

日程：2018年9月5日～7日

参加状況：21名

<海外の提携校>

- ・台湾…国立高雄科技大学、南台科技大学、中国科技大学
- ・韓国…東亜大学校、中央大学校、東明大学校、明知大学校
- ・中国…南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学経済学院、蘇州大学応用技術学院、南京大学外国部、四川外国語大学、天津商業大学
- ・ベトナム…貿易大学、ホーチミン市師範大学、タンロン大学
- ・カンボジア…タヤマビジネススクール
- ・タイ…カセサート大学、ブラパー大学
- ・ニュージーランド…ワイカト大学
- ・アメリカ…ポートランド州立大学、セントラルワシントン大学
- ・フィンランド…バーサ大学

<留学生支援課>

- ・留学生が日本で学生生活を送るためには、日本の法律を遵守すると共に、一人一人の人生や目標を大学側とよく話し合い、相談しながら「なりたい自分」に向って進んで行く必要がある。特に留学生に関係する法律や入国関係の知識を持ち、留学生に寄り添って各自の目標を達成するための各種支援をするために留学生支援課が設置されている。

③社会や企業と連携した社会共創活動の概要

<活動実績（2018 年度）>

・第 2 回神戸学生イノベーターズ・グランプリ（I-1 グランプリ）

概要：大正製薬株式会社の協力のもと「ドリンク剤の若年層ユーザーの拡大」をメインテーマに実施。本学からは 27 チームが参加。市場調査やアンケート調査に基づいたユニークで知恵を絞った提案が行われた。Zwei（清水ゼミ 4 年生）が総合優勝・表現賞のダブル受賞。

連携先：大正製薬株式会社

日程：2018 年 9 月～12 月

参加状況：2 大学（本学・兵庫県立大学）2 高校（神戸商業高校・明石商業高校）、33 チーム・160 名

・淡路仁井地区社会貢献事業（プロジェクト N）

概要：淡路島仁井地区の地域活性化を促進するプロジェクト。廃校となった小学校を使用し、学生主催の夏イベント「仁井まつり」企画・運営、地元住民主催の冬イベント「冬のふるさと文化祭」のサポート、及び「淡路島 関係人口を作る」をテーマに「淡路しまコトアカデミー」講座（講義・仁井地区でのインターンシップ）を開講し、地元の人々との交流を深めながら、仁井地区のまちおこしに取り組んだ。

連携先：淡路市仁井地区連合会、日本グローバルアカデミー、淡路市役所商工観光課、淡路島観光協会

日程：2018 年 4 月～2019 年 3 月

参加状況：44 名（学生有志 1～3 年生）

・奈良県吉野町に関するプロジェクト

1. 吉野町での地域活性化プロジェクト

概要：高齢化の進む限界集落（奈良県吉野町山口地区）にて、人と人とのつながりを創造するカフェを開く地域活性化プロジェクト。学生自らがカフェの店内装飾、商品提案、価格設定、当日までのプロモーションを行い、2 日間限定で 2 店舗（「ほのボーノ Café」・「SUN 奇楼 Cafe」）を運営した。

日程：2018 年 4 月～9 月

参加状況：17 名（柏木ゼミ 3 年生）

2. 吉野町地域交流支援プログラム

概要：観光客と地域住民との交流の場を提案することを目的に、学生が企画した「森林セラピー&食べ歩き」をコンセプトとして、神戸と吉野を「VUI」でつなぐ「VUI VUI Café」と古民家での「VUI VUI はなれ 情報交換・交流サロン」を地域住民とともに実施。

日程：2018 年 4 月～2019 年 1 月

参加状況：13 名（森藤ゼミ 3 年生）

3. 吉野町山口コミュニティデザインプロジェクト

概要：地域住民が地域活性化に主体的に取り組むことを支援するために、コミュニティデザインのワークショップを企画・運営し、崩壊した地域住民のコミュニティの再生を促進した。

日程：2018 年 9 月～2019 年 1 月

参加状況：13 名（森藤ゼミ 2 年生）

連携先：吉野ビジターズビューロー

・稲美町活性化プロジェクト

概要：稲美町が持つ魅力ある資源を活用し、稲美町への移住促進を目的とした活動に取り組み、農業体験を含めたイベント提案・運営、及び稲美町住民に対する認識調査を実施。

連携先：兵庫県加古郡稲美町

日程：2018 年 4 月～2019 年 3 月

参加状況：15 名（森藤ゼミ 2～3 年生）

・ウェディングケーキコンテスト

概要：ブライダル産業を学ぶ大学生がケーキのデザインを競うコンテスト。本学開講科目『ブライダルコーディネート論Ⅱ』の受講生 19 名が参加。人間社会学部観光学科の学生（2 年生）が 3 位入賞。

連携先：株式会社レーブドゥシェフ

日程：2018 年 4 月～7 月

参加状況：19 名（『ブライダルコーディネート論Ⅱ』受講生 2～4 年生）

・M ラボ「課題解決ラボ」

概要：神戸新聞社と兵庫県下中小企業の主催による企業と大学生のマッチングを目指す中核事業で、企業が抱える課題を大学ゼミと企業の若手社員や担当者が協力して調査研究するプロジェクト。本学からは上田義朗ゼミが参加。マッチングが成立した株式会社ナンバーズリーの担当者とともに「アジア諸国における美容サロンの実態調査」をテーマにインバウンド客の拡大に向けた提案を実施。

連携先：神戸新聞社、兵庫県中小企業団体中央会

日程：2018年5月～10月

参加状況：12名（上田義朗ゼミ 2～3年生）

・大学生が企画・案内する「ひょうごのまち歩き」

概要：ツーリズムひょうご学官連携協議会企画として4大学（本学・神戸海星女子学院大学・神戸国際大学・神戸山手大学）が独自のまち歩き8コース（本学は4コース）を企画・設定し学生が現地観光ガイドを務めた。

連携先：兵庫県観光振興課

日程：2018年5月～12月

参加状況：4チーム（井上芳郎ゼミ 3年生・秦ゼミ 3年生）・参加者総数 22名

・ユニバーシティ・カレッジ・南九州

概要：南九州3県での体験実習を通じて発見した各エリアの魅力をfacebookで情報発信するとともに、中高生に向けた修学旅行プランを提案するプロジェクト。本学からは羽藤ゼミが参加。「スポーツランドみやざきを満喫！」をテーマに、因子分析、クラスター分析などのマーケティング手法を使用し、宮崎県の観光素材の新たな魅力を発見し、旅行プランの提案を実施。

連携先：西日本旅客鉄道株式会社

日程：2018年5月～2019年3月

参加状況：9名（羽藤ゼミ 3年生）

・神戸農水産物商品化プレゼンテーション大会「KOBEにさんがろく PROJECT」

概要：神戸産の農水産物を利用した商品化に取り組むプロジェクト。本学からは後藤ゼミが参加。9月開催のプレゼン大会で、日本酒に苦手意識のある20代前半の女性をターゲットとしてスイーツ感覚で日本酒が飲める『甘味酒（かんみざけ）』を提案し、株式会社神戸酒心館、ハートスフードクリエイツ株式会社とマッチングが成立。1月開催の成果発表会において、「日本酒の美味しさを発見できるデザート」をテーマに日本酒と神戸産フルーツのジュレに日本酒をふりかけて味わうスイーツを提案し、グランプリを受賞。

商品名：神戸の美味しさキラッとブーケジュレ

連携先：神戸市経済観光局農政部農水産課

日程：2018年6月～2019年3月

参加状況：2名（後藤ゼミ 3年生）

・スポーツ産業コンペティション2018ー国際スポーツイベントの神戸開催の成功に向けてー

概要：ラグビーワールドカップ神戸大会の機運醸成を図るための企画コンペティション。本学からは山口ゼミ・辻本千春ゼミが参加。「国際スポーツイベント×神戸×ビジネス」をメインテーマに神戸のスポーツツーリズムを活性化するシステムやビジネスを提案。

連携先：神戸商工会議所

日程：2018年8月～2019年2月

参加状況：4チーム（山口ゼミ 3年生・辻本千春ゼミ 2年生）・参加者総数 25名

・ひがしなだスイーツ・酒蔵巡りバス事業イベント参加者調査

概要：東灘区を走る「スイーツめぐりバス」と灘区を中心とする「酒蔵探訪バス」の2つのルートの車内で参加者アンケート調査、分析を実施。また、現地調査をもとにパンフレットにおけるマップの改善案の提案、及び新たなパンフレット作成の提案を実施。

連携先：みなと観光バス株式会社

日程：2018年10月～2019年3月

参加状況：40名（池田ゼミ 2～4年生）

- ・大学生が考える IR 提案・研究発表会 ―大阪にふさわしい IR とは―

概要：IR がもたらす効果やふさわしい IR 施設等をテーマとして 5 大学（本学・大阪観光大学・大阪経済大学・阪南大学・立命館大学）が参加し企画提案する発表会。本学からは辻本千春ゼミが参加。「日本的なイメージを保ちながらタイムスリップした世界へ」をテーマに、日本独自の魅力を楽しめる「過去」「現代」と、最先端技術を駆使した「未来」の三種類のゾーンを軸にした提案を実施。

連携先：大阪府・大阪市 IR 推進局

日程：2018 年 11 月～2019 年 2 月

参加状況：13 名（辻本千春ゼミ 2 年生）

④地域交流・連携 活動一覧（2018 年度）

- ・トライやる・ウィーク（中学生職業体験企画）

概要：近隣の中学生に 5 日間（9:00～15:30）、流通科学大学内の様々な職業を体験していただいた。

日程：2018 年 11 月 5 日（月）～9 日（金）

参加中学校：桜ヶ丘中学校（2 名）・太山寺中学校（2 名）・平野中学校（2 名）

- ・学園夏祭り

概要：学園西町連合自治会の『学園こども夏まつり』が学園都市駅前のユニバードームで開催され、本学の文化会が企画・運営に携わり、文化系クラブの学生を中心に約 100 名が子ども向けゲームコーナーや露店などを出店。吹奏楽団と和太鼓部はステージプログラムに出演し演奏を行い、会場には子どもからお年寄りまで多くの地域の方々が来場した。

参加団体：文化会、学生会、児童ボランティア部 ALL-IN、社会イベント隊ランニングボランティア部、電脳部マスターシステム、現代視覚文化研究会、ESS、写真部、吹奏楽団、和太鼓部（計 10 団体）

連携先：学園西町連合自治会、UNITY 加盟大学

日程：2018 年 8 月 5 日（日）

三	財務の概要
---	-------

〈概況〉

2018年度の事業活動収支は経費面では必要経費の選択と集中に努め、計画範囲内で実行しました。投資面では教育改革の為の教室改修工事等を実施しました。

その結果、当年度収支差額は約4億円の支出超過となっております。

しかしながら、純資産は約335億円、うち金融資産は約119億円で、引き続き盤石な財務構造を維持しています。

※百万円未満は四捨五入

〈事業活動収支計算書〉

(単位：百万円)

教育活動収支	収入の部	科 目	2018 年度	2017 年度	2016 年度	2015 年度
		学生生徒等納付金	3,701	3,461	3,249	3,226
		手数料	75	53	51	49
		寄付金	46	39	112	31
		経常費等補助金	301	327	292	283
		付随事業収入	59	35	53	55
		雑収入	87	90	65	62
		教育活動収入計	4,269	4,005	3,822	3,705
	支出の部	人件費	2,089	2,186	2,260	2,345
		教育研究経費	2,082	1,848	1,664	1,540
管理経費		452	486	426	410	
教育活動支出計		4,623	4,520	4,350	4,295	
教育活動収支差額			△354	△515	△528	△590
教育活動外収支	収入の部	科 目	2018 年度	2017 年度	2016 年度	2015 年度
		受取利息・配当金	22	44	40	60
		教育活動外収入計	22	44	40	60
	教育活動外収支差額			22	44	40
経常収支差額			△332	△471	△488	△530
特別収支		科 目	2018 年度	2017 年度	2016 年度	2015 年度
		特別収入計	15	57	3	0
		特別支出計	17	23	16	6
	特別収支差額			△2	34	△13
基本金組入前当年度収支差額			△333	△437	△437	△537
基本金組入額合計			△79	△1,304	△1,304	△239
当年度収支差額			△412	△1,741	△1,741	△776
前年度繰越収支差額			△1,807	△66	△66	1,705
基本金取崩額			0	0	0	551
翌年度繰越収支差額			△2,219	△1,807	△1,807	1,479

(参考)

事業活動収入計	4,306	4,106	4,106	3,765
事業活動支出計	4,640	4,543	4,543	4,302

〈資金収支計算書〉

(単位：百万円)

収入の部	2018 年度	2017 年度	2016 年度	2015 年度
学生生徒等納付金収入	3,701	3,461	3,249	3,226
手数料収入	75	53	51	49
寄付金収入	44	87	107	27
補助金収入	301	327	292	283
資産売却収入	0	0	3	0
付随事業・収益事業収入	59	35	53	55
受取利息・配当金収入	22	44	40	60
雑収入	87	90	67	62
借入金等収入	0	0	0	0
前受金収入	689	742	690	658
その他の収入	2,965	6,099	5,122	7,939
資金収入調整勘定	△747	△696	△663	△646
前年度繰越支払資金	6,615	8,195	9,187	6,970
収入の部合計	13,812	18,435	18,199	18,682
支出の部	2018 年度	2017 年度	2016 年度	2015 年度
人件費支出	2,039	2,196	2,239	2,348
教育研究経費支出	1,510	1,346	1,185	1,075
管理経費支出	410	440	382	365
借入金等利息支出	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0
施設関係支出	107	2,809	633	122
設備関係支出	237	126	73	47
資産運用支出	1,850	3,526	3,980	4,615
その他の支出	1,556	1,702	1,725	1,216
資金支出調整勘定	△255	△325	△212	△293
次年度繰越支払資金	6,359	6,615	8,195	9,187
支出の部合計	13,812	18,435	18,199	18,682

〈貸借対照表（経年比較）〉

（単位：百万円）

資 産 の 部				
科 目	2018 年度	2017 年度	2016 年度	2015 年度
固 定 資 産	29,469	29,589	28,414	27,981
有形固定資産	23,066	23,304	20,898	20,695
土地	10,726	10,726	10,726	10,726
建物・構築物	10,962	11,369	8,663	8,810
教育研究用機器備品	435	266	195	184
図書	889	895	902	906
管理用機器備品	54	47	49	45
建設仮勘定	0	0	362	24
特定資産	4,116	4,065	5,580	5,064
その他の固定資産	2,287	2,221	1,936	2,222
流 動 資 産	6,373	6,630	8,210	9,205
現金預金	6,359	6,615	8,195	9,187
その他	14	15	15	18
資産の部合計	35,842	36,219	36,624	37,186
負 債 の 部				
固 定 負 債	1,004	956	968	941
退職給与引当金	1,001	951	961	940
その他	2	5	7	1
流 動 負 債	1,377	1,468	1,423	1,511
前受金	689	742	690	658
その他	687	726	733	853
負債の部合計	2,380	2,424	2,391	2,452
純 資 産 の 部				
基 本 金	35,681	35,602	34,298	33,254
第1号基本金	34,349	34,271	31,463	30,863
第2号基本金	0	0	1,512	1,018
第3号基本金	1,024	1,024	1,017	1,016
第4号基本金	307	307	307	358
繰越収支差額	△2,219	△1,807	△66	1,479
翌年度繰越収支差額	△2,219	△1,807	△66	1,479
純資産の部合計	33,462	33,795	34,233	34,734
負債の部・純資産の部合計	35,842	36,219	36,624	37,186

〈主な財務比率（経年比較）〉

比率	（算式）	2018 年度	2017 年度	2016 年度	2015 年度
流動比率	流動資産/流動負債	462.9%	451.6%	577.1%	609.0%
人件費比率	人件費/経常収入	48.7%	54.0%	58.5%	62.3%
人件費依存率	人件費/学納金	56.4%	63.1%	69.6%	72.7%
教育研究経費比率	教育研究経費/経常収入	48.5%	45.7%	43.1%	40.9%
管理経費比率	管理経費/経常収入	10.5%	12.0%	11.0%	10.9%
経常支出比率	経常支出/経常収入	107.7%	111.6%	112.6%	114.3%